

三兵木公十協働の学舎

支える会だより

〒433-8108 浜松市中央区根洗町 681 番地の 5 ☎053-430-0596

浜松協働学舎を支える会 代表 高木誠一

2026.7.10

No. 78

工房めい 新築移転記念 ～みんなで迎える新たなスタート～



工房めい新築移転のご挨拶

工房めい 施設長 大橋奈実世

「ひとりひとりが大切にされ、

そっと寄り添い合えるあたたかい居場所」

かねてより準備を進めてまいりました新施設への移転を完了し、「工房めい」は心機一転、新たなスタートを切ることとなりました。立派な建物に、私たち一同、感動しています。この度の新築移転が叶いましたのも、設計・施工を担ってくださった皆様、そして日頃より私たちの活動を温かく見守り支えてくださっている地域の皆様や関係者の皆様の、多大なご支援・ご協力のおかげです。心より深く感謝申し上げます。

新施設は、ご利用者一人ひとりが自分らしく穏やかな時間を過ごせるよう、光と風をふんだんに取り入れた設計となっています。真新しい木の香りに包まれ、ご利用者の皆様も少し緊張した面持ちながら、新鮮な気持ちで日々を過ごされています。「こんなふうに過ごせたらいいね」という願いが現実となり、建物だけでなく、そこに流れる空気感が一人ひとりの表情をより穏やかに、前向きに変えてくれているのを感じます。改めて、環境の大切さを実感する日々です。お気に入りの場所や仲間、夢中になれる何かを自分のペースで見つけられる、そんな「安心して集い、笑い合える居場所」であり続けたいと強く願っています。

工房めい新築移転のご紹介 クラスの特徴

新築移転した工房めいは、高齢の方が穏やかに過ごせる空間、生産活動を日課とする場、そして強いこだわりを持つ強度行動障害のある方が安心して過ごせる環境など、それぞれの特性に合わせた設えを整えた自慢の建物です。

建物内は大きく5つのユニットに分かれており、混乱を避けるためにクラスごとの玄関を設けています。各ユニットには活動の場、食事・休憩スペース、キッチン等を備え、トイレにこだわりがある方や他者との接触に緊張を感じる方のために、トイレ付の個室もご用意しました。この個室は、机や椅子、ソファが置ける広さがあり、まずは個室で落ち着いて過ごし、不安が軽減されたら共同エリアへ：というように、ご自身のペースでクールダウンと活動を切



り替えられる設計です。さらに、各クラスから直接出られる専用の中庭も設け、運動や戸外での休息など、気分転換の場として活用しています。

慌ただしい日常の中でも忘れずにいたい「自然の温もり」と「人との絆」。個人の自由を尊重しながら共に生きる

「調和」を願い、新しい5つのクラスに名前を付けました。

ひだまり

安心感の中で自分らしくいられる場

6名のご利用者が所属。バルコニーや新しいお風呂など、今までの工房めいではできなかった過ごし方のできるクラスです。特に小上がりの畳スペースが好評で、作業の合間にここで、ひなたぼっこをしたり、一日の最後にみんなが集まってコーヒーで一服したりするのが習慣になっていきます。丁寧なケアを提供しつつ、手作業や



感覚プログラム等を創出し豊かで心地良い『ひだまり』のようなクラスを目指していきます。

とまり木

いつでも戻れるところ。

誰かと肩を並べ、一息つける場

6名のご利用者が所属。共有スペースのソファや緑色の芝生が映える中庭など、ひとりひとりがお気に入りの空間で毎日穏やかに過ごされています。

散歩や自立課題を通して健康で生き生きとした毎日を通していただけるよう支援させていただきます。止まり木のように時々休息を取りつつ、若い世代に負けない活動的な時間を育んでいきます。



つむぎ

かけがえのない人との縁を育み繋ぐ場

10名のご利用者が所属。主に「どうまい卵」の

磨き・パック詰め・販売を行っています。一人一人がクラス内で役割を持ち、どうまい卵の販売を通して地域との繋がりを築いていきます。生産活動がメインになりますが、ちょっとした楽しいイベントを織り交ぜながら、笑顔のあふれるクラスを目指していきます。



ます。

「わおんⅡ和音」は複数の異なる音が同時に鳴り響き合う状態を表します。わおんクラスもひとりひとり異なる個性が響き合う事で新たな可能性を見出せる楽しいクラスにしていきますと思います。



自由でのびのびと過ごせる場

そよかぜ

8名のご利用者が所属。自分だけの空間で集中して作業に取り組み、休憩は各々の部屋やソファでのんびりと。施設の周囲には緑が多く、自然の風を受けながらの散歩も楽しめます。心地良い刺激を受けます。心地良い刺激を受けます。心の良い刺激を受けます。心ながら自分の好きなことと得意なことに挑戦できるような寄り添い、楽しく穏やかに過ごせるクラスにしたいと思います。



「動」(そよかぜ)と「静」(ひだまり・とまり木)、「個」(つむぎ)と「集団」(わおん)それぞれの個性を大切にしながら、誰もが自分らしく心地よく繋がれる居場所を目指し、これからも皆様と共に歩んでまいります。

ぜひ、お近くにお越しの際は、新しい施設の様子を覗きにいらしてください。皆様と笑顔でお会いできる日を、スタッフ一同心よりお待ちしております。



個性が響き合い、調和を生む場

わおん

7名のご利用者が所属。共有フロアや個室にて自立課題や作業に取り組みます。天気の良い日は散歩に出かけたり、中庭の芝生やウッドデッキでひなたぼっこをしたりしながら一人一人がマイペースで穏やかに過ごせるように環境を整えていきたいと思



竣工祝別式
2026年5月13日

工房めいの設計にあたり

株式会社山岡一級建築設計室
代表取締役社長 山岡秀暢



この度は新しい『工房めい』の完成、おめでとうございます。

弊社が社会福祉法人ひかりの園の新築施設を設計するのは『こもれびの家』に続き2棟目になります。その間も既存施設の改修や営繕にも携わらせていただいておりますが、日頃手掛けることが多い、個人宅やマンション、工場等の設計とは考え方が大きく異なり、優先順位の設定がなかなか難しく独特です。一般的な設計では「細部も頑丈で壊れにくい」とか、ご利用者の特性上「簡単に出でしまわないように」が優先順位として先に来ますが、「ケガをしないように」や「閉鎖的にしたくない」も同時に考えたい事柄です。

例えば、壊れにくい仕上材料は硬くてご利用者がぶつかった際のケガの懸念や、小窓ばかりでは閉鎖的で寂しい雰囲気になってしまうこともあり。そこで法人さんとの勉強会や様々な施設見学を通じて出た発想は、【壊れても直しやすい】と【スタッフさんの心身も健康であるように】で

した。つまりご利用者の支援をされるスタッフさんの働きやすさや、一息つけやすい空間づくりもご利用者へのサービス向上や安定に繋がるといった考えです。新しい『工房めい』は障害の度合いの異なる5ユニットが共存し、それぞれにトイレやシャワー室を設置したい要望もありましたが、それをユニット間で共有する使い方にする事で建設費を抑える間取りや、ご利用者が寛ぎやすくスタッフさんの目が配りやすい中庭を設け、活動室の窓を透明ガラスにして高い位置に付けることで、プライバシーや近隣住民さんとの距離感を保ちつつ屋内に居る皆さんが開放的に過ごせる工夫も特徴のひとつです。機会がありましたら是非ご体感ください。

最後に、仲良くしてくださいるご利用者やスタッフさんのお陰で、工事中も楽しく現場監理させていただきました。この場をお借りし係わられた全ての皆さんに感謝いたします。ありがとうございました。



すてつぷ 大橋正季

工房めいが新築オープンしました。重たい障がいを持った方たちが安心して活動するための様々な工夫が凝らされた素晴らしい施設が完成したと思います。

よく「ハードよりもソフトが大事」と、建物よりも支援の中身が大事だと重視されがちですが、今回の建物を見て、やはり両方がそろってこそ、良い支援が実現するのだと改めて感じました。

私たちグループホームすてつぷでも、重たい障がいを持った方たちが安心して暮らせる住まい（ハード）を整備していくことが大きな課題となっていました。そこで、旧工房めいの一部をリノベーションして、そういった方たちにも安心して暮らせる場として新たに開所することを決めました。

グループホームの名前は「あまやどり」。10月のオープンを予定しています。

今回は3名定員の小規模な施設で、1階は共同スペース、2階にはそれぞれの個室にトイレ、浴室を備え、一般的なワンルームマンションのような仕様になっています。1階の共同スペースは大きなキッチンや掘りごたつも設置する予定です。これも今までの課題であった「施設の中だけで完結してし



まう暮らし」を変えていくためのハード面での工夫です。「あまやどり」のご利用者だけでなく、法人の内外のご利用者が気軽に寄って頂ける場所になればと願っています。

グループホーム

「しんばる」と「あわいの杜」

浜松協働学舎根洗寮 村松徹弥

浜松協働学舎根洗寮は、2027年3月に「暮らしの場」として二つのグループホームへと生まれ変わります。

ひとつは新たに開設されるグループホーム「しんばる」です。定員は20名で、現在根洗寮で生活しているご利用者20名と短期入所2名の方が、地域での暮らしへと移行していく場となります。「しんばる」はSYN(共鳴)の意味から名付けました。つながる・響き合う・ともに創るという思いが込められています。

もうひとつは、現在の根洗寮の建物を活用し、名称を「あわいの杜」と改めてスタートするグループホームです。「あわい」とは、境界や間にあるやわらかなつながりを表す言葉で、人と人、地域と暮らしが穏やかに交わる場でありたいという願いを込めています。定員は20名、短期入所5名を予定しており、「しんばる」開設後、順次リフォームを進めていきます。

開設当時から大切にしてきた「職住分離」の考え

方は、今後も変わりません。入所施設からグループホームへ移行した後も、ご利用者はこれまでと同じ生活介護施設に通い続ける予定です。根洗寮が二つのグループホームへ移行することで、高齢化が進む中でも介護保険や訪問看護、行動支援、移動支援などの外部サービスを柔軟に利用できるようになります。また、根洗寮よりも少人数での暮らしとなり、夜間の支援者も増えることで、より安心できる生活環境が整います。

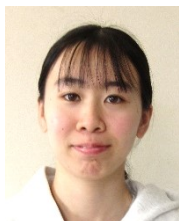
私たちは、入所施設での暮らし以上に、お一人おひとりが自分らしい多様な暮らし方を選び、実現していけることを願っています。新しい住まいが、単なる「生活の場」ではなく、その方の人生の物語が続いていく大切な舞台となるように、私たちは寄り添い続けたいと考えています。好きな時間に好きなことを楽しみ、地域の人とのつながりを育み、自分のペースで安心して過ごせる日々。その積み重ねが、その人らしい豊かな暮らしにつながっていくと信じています。

会長交代のお知らせ

え野代永に賜深
支那交はらびを
をがとにはらびを
舎長へはらびを
学舎氏運るこに
働一誠野運るこに
協木誠野運るこに
松高木誠野運るこに
浜高木誠野運るこに
び高木誠野運るこに
た高木誠野運るこに
の英子氏に謝意を
る会に氏に謝意を
る英子氏に謝意を

<浜松協働学舎新職員の紹介>

所属施設 氏名 ①休日の過ごし方 ②座右の銘 ③1000万円あったら



浜松協働学舎根洗寮

山口 琉愛 やまぐち るあ

- ①漫画をみてます。
- ②夏の木立、冬の日だまり
- ③天体望遠鏡を買いたい

入職して2ヶ月経ちますが、毎日新しい出来事に出会えて楽しく、たくさんのことを学びながらすごしています。これから先も関わりを大切にしながら、ご利用者ひとりひとりが安心して楽しい時間を過ごせるように努めていきたいと思っています。

趣味はぬいぐるみを集めることで、手乗りぬいぐるみから抱き枕までたくさん家に飾っています。最近はパペットスンスンがブームで集めています。



浜松協働学舎根洗寮

高林 洋臣 たかばやし ひろみ

- ①本を読んだり映画館で映画を観たりします
- ②合理的優しさ
- ③家の購入(猫が居て賃貸だと難しい)

以前は、まちづくりやアートに関わる仕事をしていましたが、10年ほど前から障害福祉の仕事に携わっています。生活介護事業所の支援員をしながら、重度の知的障害のある方のヘルパーサービスを利用した自立生活の検討・実践にも関わってきました。多くの人から共感を得られる価値を提供するのではなく、一人ひとり、その人固有の価値観を尊重しながら共に生活を積み重ねていくことに魅力を感じています。



青葉の家

内山 展子 うちやま のりこ

- ①友達と飲みに行って、おいしいお酒を飲む
- ②初心忘るべからず
- ③シトロエンの車を買う

2人の娘を育てる母です。子育てしていますが、料理のレポートが少なく下手です。娘たちはおいしそうに食べてくれますが毎回同じものでかわいそうだなと思ってしまいます。文句も言わないのでいい子たちに育ったなと思っています。簡単なおいしいものが作れるレシピを教えてください。趣味は音楽を聴くことと、ライブやフェスに参戦することです。ちょっとした自慢はバンドTシャツが100枚くらいあることです。



浜松協働学舎根洗寮

田中 結衣 たなか ゆい

- ①寝る、ショッピング、ドライブ
- ②失敗は成功のもと
- ③海外旅行、LIVE観戦

入職して2カ月が経ち、少しずつ業務にも慣れてきました。まだ学ぶことも多くありますが、一つひとつ丁寧に取り組みながら、一人ひとりの思いを大切に、ご利用者の皆さまに寄り添った支援を心がけています。

また、日々の関わりの中で多くのことを学び、自分自身も成長できるよう努めています。これからもご利用者の皆さまやご家族の皆さまに安心していただけるよう、支援に取り組んでまいります。



すてっぴ

大場 千夏 おおば ちなつ

- ①友達と食事に行って延々話す
- ②一期一会は食卓にあり(長田弘)
- ③北欧に福祉を学びにいきたい!

前職ではベーカリーを営んでいましたが、新たな挑戦としてこのたび入職いたしました。グループホームでの毎日は驚きと笑いに満ち、とても充実しています。好奇心を持って日々学び、自分の幅を広げていけたらと思っています。趣味は美味しいご飯を食べること、お笑い・映画(特にドキュメンタリー)・音楽鑑賞、美術館巡り、読書です。また、高校3年生と中学2年生の息子を育てる母でもあります。



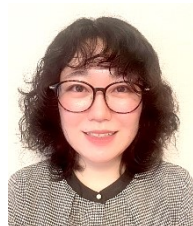
浜松協働学舎根洗寮

馬場 虎太郎 ばば ころたろう

- ①動画・録画視聴。おでかけ。玩具で遊ぶ。
- ②瞬瞬必生(分かる人には分かるネタです)
- ③特撮の撮影スタジオが欲しい

昨年度まで聖隷クリストファー大学で学生生活を送りながらNPO法人「あくしす」で移動支援のヘルパーと放課後等デイサービスのスタッフとして障害のある方と関わっていました。時間はかかると思いますが1日でも早くご利用者、職員の皆さまの力になれるよう精進いたします。

仮面ライダーとスーパー戦隊が好きです。最近のカフェ・スイーツ巡りに興味があります。



すてっぴ

前田 朱里 まえだ あかり

- ①大体昼まで寝て後悔します。
- ②個人的なことは政治的なこと
- ③車の修理と携帯の修理をはやくしたい

前職では書店で働いていました。本も好きですが人と関わるのが好きで、福祉の仕事にも興味を持ちました。グループホームはいつも予想外の面白いことが起こります。ご利用者には元気と学びをもらっています。

大学では現代美術の勉強をしていました。福祉とアートのつながりや、芸術文化を通じたコミュニティづくり、社会運動にも関心があります。勉強と実践の毎日を楽しんでいけたらと思います。



浜松協働学舎根洗寮

早瀬 琴望 はやせ ことみ

- ①美味しいものをたくさん食べる
- ②蟻のおもいも天に届く
- ③世界遺産へ行く。日本各地の名物食べる。

私は日常生活の中で小さな楽しみを見つけることが好きです。入職して2カ月がたちます。私にとって初めての事も多く、不安や焦りを感じる事も沢山ありますが、毎日新しい発見があり、ワクワクしながらすごしています。これからも人との関わりを大切にしながら、前向きな気持ちで様々なことに挑戦し喜びを分かち合いたいです。また、日々の出来事の中で自分自身も成長させていけるよう努力していきたいです。

中核的人材養成研修を受講して

青葉の家 藤井良之

「中核的人材養成研修」は、自閉スペクトラム症の支援について強度行動障害支援者養成研修の内容を踏まえて、事業所の支援現場において適切な支援を実施、組織の中で適切な指導・助言ができる人材の育成を目的として、「国立重度知的障害者総合施設のぞみの国」が国の直轄研修として実施しています。令和6年度の障害福祉サービス等報酬改定により新しく創設され、令和6年度は各都道府県2名ずつ、令和7年度からは政令指定都市からも受講できることとなり、浜松市の推薦を受け「社会福祉法人ひかりの園」から私が受講することとなりました。

約半年間にわたり、eラーニングでの事前学習、オンラインや集合での研修、自分の職場での実践と報告、トレーナー、サブトレーナーの訪問による支援の確認とアドバイスなど、盛りだくさんの研修でした。通常の仕事しながらの学習や実践はとても忙しいものでしたが、行動の面で難しい方のアセスメント方法や支援方法についての新しい知識を学ぶことができ、これまで自分の行ってきたことや青葉の家で行っている支援について反省し、あらためて見直す良い機会となりました。半年間の学びの中で、正しい見立てのもとに計画を立てて「チームによる支援」を組み立て、常に見直しをしながら繰り返していく「PDCA サイクル」の大切さを強く感じました。今後はこの研修での学びを活かして、青葉の家のみならず、浜松協働学舎全体、浜松市全体の支援をより良くしていけるよう、努力していきたいと思っています。

2025年度浜松協働学舎を支える会決算書

収入の部

単位/円

科目	決算額	予算額	予算比	適用
前年度繰越費金	3,949,524	3,949,524	0	
会費	977,000	1,100,000	-123,000	会費
寄付金	510,841	300,000	210,841	一般寄付
雑収入	29,110	2,500	26,610	預金利息
合計	5,466,475	5,352,024	114,451	

支出の部

単位/円

科目	決算額	予算額	予算比	適用
一般物品費	1,375	3,000	-1,625	事務用品
印刷製本費	133,760	270,000	-136,240	機関紙印刷代 封筒
通信費	181,857	185,000	-3,143	郵送費 手数料
雑費	206,504	200,000	6,504	中元 歳暮 団体会費
助成金	60,000	500,000	-440,000	施設助成
予備費	0	2,500,000	-2,500,000	災害発生時施設修繕等
合計	583,496	3,658,000	-3,074,504	

次年度繰越金	4,882,979
--------	-----------